

FUJIFILM NEWS

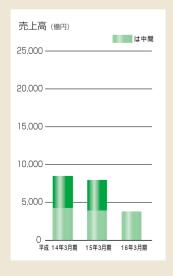
株主のみなさまへ DECEMBER 2003 vol.65

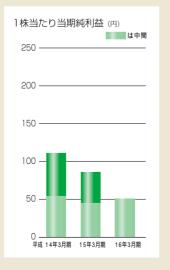


	単独			結
	平成15年度中間期	平成14年度中間期	平成15年度中間期	平成14年度中間期
売上高	376,339	390,160	1,256,611	1,249,435
経常利益	40,404	41,474	81,063	77,908
中間純利益	26,117	23,197	41,112	33,610
1株当たり中間純利益(円)	50.88	45.09	80.10	65.33
資産合計(期末)	1,691,769	1,676,173	3,006,953	2,922,611
資本合計(期末)	1,484,338	1,450,270	1,703,648	1,692,806

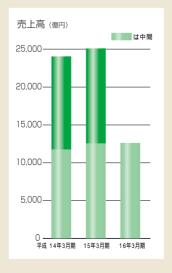
注)連結の表示は、経常利益が税引前利益、中間純利益が当期純利益となります。

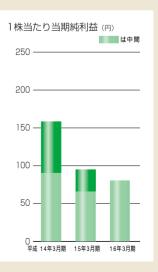
単独





連結





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申 し上げます。

さて、当中間期(平成15年4月1日より平成15年9月30日に至る) における我が国経済は、外需に先導される形で景気回復期待が膨らんできたものの、個人消費及び民間設備投資が依然として低水準で推移したのに加え、期後半には急激な円高が進行する等景気浮揚力は脆弱であり、先行き不透明な状況にあります。海外におきましては、米国経済は、期後半より個人消費の伸長等景気回復の兆しが見え始めておりますが、雇用回復の遅れや長期金利の上昇等が景気にマイナス影響を与えることが懸念されます。欧州経済は、米国等への輸出に若干明るさが出てきたものの、依然として景気は低迷状態が続いております。アジア諸国の経済は、新型肺炎(SARS)の影響で消費・生産の伸びが鈍化し、一部の地域では景気減速傾向を示しました。

このような状況下、当社は、イメーシング、インフォメーション、ドキュメントの各分野で、デジタル・ネットワーク技術を活用したトータルソリューションの提供等、積極的な事業展開を図り、事業領域の強化・拡大に努めました。この結果、当中間期の売上高は単独で3,763億円、連結では1兆2,566億円となりました。利益につきましては、単独の経常利益は404億円、当期純利益は261億円、連結の税引前利益は810億円、当期純利益は411億円となりました。

当中間期配当金につきましては、1株当たり12円50銭に決めさせていただきました。

次に連結売上高の部門別の状況をご説明させていただきます。イメージング ソリューション部門につきましては、レンズ付きフィルムでは、花火や夜景もされいに撮影できる「写ルンです Night & Day」を発売、ネガ/リバーサルフィルムの分野でも新製品を発売し、銀塩写真製品のラインアップを強化しました。当社独自の「スーパーCCDハニカム」を搭載し、好評をいただいているデジタルカメラの分野では、「FinePix F410」等の増販に努めたほか、「FinePix S5000」「FinePix F700」を発売しました。また、カメラ付き携帯電話向けに、100万画素対応のCCDカメラモジュールの供給を開始しました。フォトフィニッシング機器では、デジタルミニラボ「フロンティア」シリーズの拡販とともに、カメラ付き携帯電話からの写真プリントが可能な店頭即時デジタルプリントシステム「プリンチャオQn」を市場導入するなど、デジタルプリントサービスのインフラ整備に努めております。

インフォメーション ソリューション部門につきましては、印刷システム

関連製品では、CTPシステム関連の新製品を発売する等、拡販に 努めました。なお、新たに富士フイルムグラフィックシステムズ(株)を 連結対象に加えたことで、売上増に寄与しました。また、医療診断 用製品では、マンモグラフィ(乳房X線撮影)検診にも最適な「FCR PROFECT CS」の発売を開始しました。また、内視鏡製品では、スーパーCCDハニカム」を搭載した電子内視鏡用スコープや、これまで難しかった小腸の観察・処置を容易にした「バルーン付電子小腸鏡」の開発に成功しました。液晶ディスプレイ用部材では、旺盛な需要に対応し、生産能力の増強・研究開発体制の拡充を推進しております。記録メディア製品では、当社独自のナノキュービックテクノロジーを初めて採用した、エンタープライズシステム(基幹システム)向け3592データカートリッジの供給をIBM社に対し開始しました。

ドキュメント ソリューション部門につきましては、国内において、高画質カラー機の分野で、独自開発した面発光型半導体レーザー (VCSEL)を搭載した高画質デジタルカラー複合機「DocuColor 1256 GA」を新発売しました。海外においては、デジタルカラー複合機「DocuCentre Color」シリーズのアジア・オセアニア地域における販売及び欧米への輸出が引き続き好調に推移しました。情報機器事業では、前年度に富士通(株)より取得した連帳ブリンター事業が、着実に売上増に寄与してきております。

当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況が続くものと見られますが、経営基盤のさらなる強化を図り、先進技術を駆使したトータルソリューションの提供を積極的に展開してまいります。また、研究開発・生産・販売・サービスの強力なネットワークを構築し、富士フイルムグループー体となって競争力の強化と成長を目指してまいる所存です。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年12月

Close

富士フイルムグループの総合力が実現した トータル・モバイルイメージング・ソリューション

カメラ付き携帯電話の世界を舞台に多彩なビジネスを展開!

ピクチャーテイキングソリューション

メガピクセル時代をリードする高画質



2

富士フイルムは、画像を入力する「撮影」分野でデジタルカメラ「FinePix」シリーズのキーデバイスである「スーパーCCDハニカム」どフジノンレンズ」を組み合わせたメガピクセルカメラモジュール「FM42000」を携帯電話機メーカーへ供給しています。

最近では、本年10月に新発売された「ムーバ D505iS」* に採用されました。有効画素数100 万画素、最大記録画素数1632×1224(200万 画素)での撮影を可能にするなど、富士フイル ムならではの高画質が高く評価されています。



レンズ部に表示された 「FUJINON LENS(フ ジノンレンズ)」のロゴ



「スーパーCCDハニカム」 の搭載を表示

*「ムーバ」は株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモの登録商標です。

当社グループのメガピクセルカメラ モジュール「FM42000」を搭載した「ムーバD505iS」

イメージプロセッシングソリューション

バリエーション豊かな画像処理技術

「画像処理」分野では、画像変換 ASP*サービス「Keitai Picture」が好評 です。これは、画像を携帯電話に送信 する際、待受画面のサイズや表示能力 などに関わらず、全キャリア・全機種に 最適な画像が得られるよう自動変換し、 配信するサービス。拡大しても画像が粗

Keitai Picture

キレイな拡大機能

当社の画像処理技術でオリジナル画像が小さくても各携帯電話の表示サイズに最適な拡大画像を配信できます。

Keitai Picture b

「モバイルプロジェクト・アワード」の モバイルミドルウェア部門で最優秀賞を受賞

モバイルコンテンツフォーラムが主催し、モバイル業界の優秀なプロジェクト、個人を表彰する「モバイルプロジェクト・アワード」のモバイルミドルウェア部門で「Keitai Picture」が最優秀賞を受賞しました。

1 枚のオリジナル画像をi-mode、Vodafone live!、 EZwebの各キャリア、携帯電話機種ごとに最適化した画像を 生成・配信するサービスとして、高い技術力でモバイルビジ ネスの発展に貢献していることが評価されました。





カメラ付き携帯電話は、メガピクセル(100万 画素)の時代を迎え、高画質化とともに、撮影し た画像を①待ち受け画面に表示する、②加工す る・遊ぶ、③友達に送る、④プリントする、など コミュニケーションツールとして様々な楽しみ方 が広がっています。活況を呈するカメラ付き携 帯電話市場で、富士フイルムグループは、撮影

イメージセンサー技術 ピクチャーティキングソリューショ スーパー CCD ハニカム搭載 メガピクセルカメラモジュール 「FM42000」 【プリント】 【画像処理】 各種モバイル画像処理 表示 印刷 フォトニラッパ ブリンティングソリューション イメージプロセッシングソリューション プリンチャオ pixabase 2 Princiao Qn Keitai Picture

【撮影】 デジタルカメラ、携帯電話向け

プリンティングソリューション

携帯電話用の画期的プリンター登場

くならず、商品を高画質で送信したい 通信販売をはじめ、映画、音楽、グルメ 占いなど 幅広い分野で利用企業が 拡大しています。

(入力)~画像処理(加工)~プリント(出力)の

全プロセスを総合的にサポート。" いつでも、ど

こでも、誰でも、簡単に きれいな画像が楽しめ

る「ユビキタス・イメージング」の実現をめざし、

多彩なモバイルビジネスを展開しています。

当社は、携帯電話のコンテンツビジネ スにも参入し、iアプリコンテンツ「ウゴク フォトミラクルを提供しています。携帯 電話のカメラで撮影した画像にヒット曲 のBGMをつけ、プロモーション映像の ように動きのあるフォトクリップが簡単に 楽しめるもので、若者層を中心に会員 数を伸ばしています。

* ASP(アプリケーション・ サービス・プロバイダー) サービス: 顧客にシステム を販売するのではなく、利用 契約を結び、インターネット 等を通じて低価格でアプリ ケーションソフトを提供する サービス。



ヒット曲に合わせて写真が動 き、待受け画面にしたり、メー ルで送ることもできます。

当社の得意分野の一つ「プリント」 では、カメラ付き携帯電話用プリンター 「NP-1」を開発しました。 撮影 ~ 携帯 電話の赤外線通信でデータ送信~受 信後わずか15秒での画像書き込み・ フィルム送り出しを実現した画期的商 品です(12月発売予定)

手のひらに乗る小型サイズの「NP-1」 は、当社のインスタントカメラのヒット商 品「チェキ」用フィルム 高感度ISO800) を使用し、まさにボタン一つで簡単に プリントできます。

また、店頭プリントでは、携帯電話

撮ったら、ワンタッチで送信し、即 プリントできる「NP-1」

で撮影した画像を専用のサーバー に送信し、最寄りの「プリンチャオQn」 設置店でプリントを受け取るサービス などを提供しています。

このように、当社は画像の入口から 出口まで、携帯電話ユーザーがいつ でも、どこでも、誰でも、簡単に "高画

質な画像が楽しめる「ユビキタス・イメ ージングの世界をトータルにサポートし ています。





富士ゼロックスが展開するニュービジネス

ネットワーク教育をトータルに支援する

eラーニング ソリューション

教室で受講しているような臨場感のある動画講義をパソコン上で実現した「税理士Web講座」



富士フイルムグループのドキュメントソリューション部門を担う富士ゼロックスは、「知の創造と活用」をテーマに、紙の上の情報だけでなく、電子情報、映像・音声なども含め、情報を創造的かつ有効に活用、共有できる環境づくりを推し進めています。

同社が提供する「Knowledge-Driveサービス」は、インターネットの常時接続、動画配信などIT環境の進化を背景に、大学、専門学校、企業などに浸透しつつあるネットワーク教育「eラーニング*」をトータルに支援するサービスです。今回は、その導入事例として、「資格の大原グループ」が開講している先進のeラーニング講座「税理士Web講座」をご紹介します。

* **ョラーニング**: インターネットやイントラネット上で行う教育・研修のこと。学習コンテンツはネットワークを介して受講者のパソコンに配信され、時間や場所に制限されることなく学習できます。

■理想的なeラーニングをめざして

「資格の大原グループ」は、税理士試験で25年連続合格者数No.1という実績を誇り、充実した内容の通学講座と通信教育講座を開講されています。通信教育では、ネットワークを介した教育が現実味を帯びてきた3年前から、いち早く、動画配信によるeラーニングの可能性を検討されていました。

常時接続のインターネット環境の中で、"24時間、いつでも、どこでも"受講でき、満足度の高いeラーニングを構築しようと、大原グループのIT戦略を担う、株 ビズバレーを通じて富士ゼロックスに打診があり、「税理士Web講座」システム構築の協働作業がスタートしました。

「富士ゼロックスにお願いし、全面リニューアルしたのは第2期からです。富士ゼロックスの提供するサービスは、既製のパッケージソフトと違い、こちらの要望に合わせてカスタマイズできる柔軟性を備えているため、受講者の要望をきめ細かく反映させることができました。まさに、富士ゼロックスと大原グループの関係者全員が一体となって創りあげたものです。それだけに、受講者の評価も高く、日本のWeb講座のモデルケースになったと自負しています(通信教育本部・本部長、大野正博さん)

■1年で利用者が倍増、 双方向のWeb講座

受講者約1,700名でスタートした「税理士 Web講座」は、富士ゼロックスのシステムに 移行した第2期(2002年9月~2003年8月) から3,500名に倍増しました。

「講座は1科目78回で5科目合格が必須なので、受講量は膨大です。Web講座では、自分でここが見たいという場所にすぐ飛べる複数の検索機能が付いています。これは



スタジオでのビデオ収録風景。通信教育本部本部長、 大野正博さん(左前)と関係者の方々。

富士ゼロックスが提供する

「Knowledge-Drive サービス」の3大特長

● 短期間で立ち上げ

事業化のコンサルティングから実際の 運用まで、豊富なサービスメニューをご用 意し、短期間での立ち上げを可能にしてい ます。

「税理士Web講座」の仕組み



②システム維持運営を低コストで実現

富士ゼロックスのデータセンターでコンテンツをお預かりして配信(ASPサービス)するので、サーバー運用担当者や設備を配置する必要がなく、保守も不要で、低コストな維持運営を実現します。

❸「学びたくなる」最適なシステムの提供

講師の個性をも伝える臨場感のある動画映像で、見たい講義や場所を素早く、簡単に検索できる機能に加え、資料のダウンロード、学習成果の確認、講師への質問メールなど受講者の学習意欲を引き出す多彩な機能を満載しています。

大変便利と好評で、ストレスを感じず、効率 よく学習できるとの声を受講生からいただい ています(同)

「講師への、質問メール"の中には人生相談もあり、まさに双方向教育の見本といえるも



別室でのビデオの編集作業。

のになりました。機能は格段に増えたのに問合せが減り、クレームもありません。やはり、内容プラス伝え方が大事で、これからもユーザーのニーズをとらえ、使い勝手を重視したeラーニングの構築に取り組んでいく考えです(同)

富士ゼロックスは、今後、需要の拡大が予想される企業内教育や国公立大学の独立法人化などの動きをとらえて市場を開拓し、ユーザビリティの高いeラーニングサービスを低コストで提供すると同時に、eラーニングとブロードバンドを融合した高画質な動画配信により、IT時代の知識・ノウハウの活用、共有を強力に支援してまいります。

海外だより

欧州でのスポンサー・PR 活動

FUJIFILMブランドは ヨーロッパに広く浸透







(左 2006年ドイツ大会のオフィシャル イメージング スポンサーをアピールするポスター (右)全仏オープンの会場に掲出された FUJIFILMのロゴマーク

10月にスペインで開催された映像関連の 展示会 "Sonimag"に出展

富士フイルムは、写真を通じて世界の人々と触れ合い、喜びや感動を分かち合うため、各地でスポーツイベントやテーマパーク、展示会等への協賛を行っています。今回は、欧州を舞台にダイナミックに展開するスポンサー活動や世界有数の観光国スペインでのPR活動をご紹介します。

FIFA ワールドカップ™や 全仏オープンなど数々の スポーツイベントに協賛

欧州の人気スポーツといえば、やはりサッカー。富士フイルムは、世界中の人々を熱狂させた「2002年FIFA ワールドカップ™」に続き、2006年に開催されるドイツ大会でもオフィシャル イメージング スポンサーとして、お手

伝いすることになりました。スポンサーとして は、1982年のスペイン大会から7回連続となります。

また、当社は1992年以来、テニスの世界 4大大会の一つ「全仏オープン」にも協賛し ています。本年5月には、パリのローランギャロスで開催され、杉山愛選手の大活躍が話題となりました。テニスのエレガントかつダイナミックなイメージとFUJIFILMの躍動感がよくマッチし、当社プランドの認知度アップに貢献しています。

このほか、欧州ではフィギュアスケート大会にも協賛しています。2004年1月にハンガリーの首都ブダペストで開催される欧州選手権、3月にはドイツのドルトムントで行わ

れる世界選手権のダブルスポンサーとして、 銀盤に繰り広げられる熱く華麗な戦いを世 界中にお届けします。

スペインの至る所で FUJIFILMはおなじみ

スペインは、人口約4千万人に対し、外国からの観光客が年間約5千万人訪れる観光国で、観光者数はフランスに次ぎ世界第2位を誇っています。当社の現地法人「FUJIFILM España」は1989年の創業以来、積極的な広告宣伝活動を展開しており、スペインのどこへ行ってもFUJIFILM ブランドが浸透しています。

首都マドリッドに到着した観光客は、まず



テーマパーク「ワーナームービーパー ク」でも当社製品 を販売



ガウディ作「サグラダファミリア教会」のパンフレットに印刷された当社製品のPR



ホテルバスにも鮮や かな当社のロゴが



スペインの人気リゾート、サン・セバスチャンでのイベントに協賛



当社が契約した名門チーム「FCバルセロナ」のスタジアムは世界有数の大型競技場

市内を走る2階建て観光バス内で当社の製品が販売されているのを目にします。同様に、バルセロナでは明るいデザインの市営観光バスの車体にスポンサーであるFUJIFILMのロゴマークが描かれています。

また、ピカソ美術館やミロ美術館、モンセラート修道院などの有名観光地や、スペイン国営のホテルチェーンで観光客に人気の高いパラドールでも当社フィルムが専売されています。

スペインが生んだ建築界の鬼オガウディの作品も世界的に有名です。富士フイルムは、ガウディの代表作であるサグラダファミリア教会およびグエル公園と、当社製品の専売契約を結ぶとともに、これらの世界的

文化遺産を保存し、後世に残すための支援を行っています。2002年のガウディ生誕150周年には、現地のイベントに協賛したほか、東京・銀座の「富士フォトサロン」で記念の写真展を実施し、好評を博しました。

テーマパークや動物園、 サッカー競技場でも

天候に恵まれたスペインは、欧州有数のリ ゾート地であり、また大型テーマパークも多数 あります。当社は、ユニバーサルスタジオ、ワ ーナームービーパークをはじめ、スペイン国内 に点在するテーマパークで製品販売やデジ タル写真サービスを提供しています。また、ス ペイン人の憩いの場となっている動物園につ いても、マドリッド、バルセロナの2大都市に おいてスポンサーとなっています。

他の欧州の国々同様、スペインにおいても サッカーは熱狂的な支持を受けています。今 秋、FUJIFILM España は、世界的に有名な クラブチームがひしめき合うスペインリーグの 中でもとりわけ人気の高い名門クラブチーム "FCパルセロナ(Futbol Club Barcelona)"と 契約し、クラブ施設での当社製品販売とイメ ージングサービスを開始しました。

昨年のワールドカップで活躍した人気選手を多数擁する同クラブのスタジアム(10万人収容)で、富士フイルムは写真を通してサッカーファンの興奮を永遠の思い出として記録するお手伝いをしています。

新製品

来るべき超高速 ネットワーク時代に対応

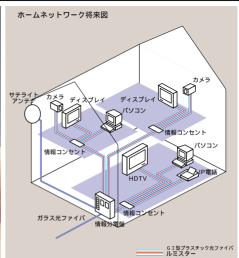
先進の光ファイバ 「ルミスター」誕生

動画配信をはじめネットワー ク上の情報量は急速に増大し、 数年先には現在のレベルをは るかに超える情報伝達速度が 必要になると予想されています。 富士フイルムの「ルミスター」は、 そうした次世代ホームネットワー

ク用のキーインフラとして開発されました。

大容量・高速通信はもちろん、低コストで安全性に優れ、大口径 で取り扱いが簡単など、数々の特長をもち、種々の情報通信機器





および家電機器を高速で結びます。富十フイルムは今後、富十ゼ ロックス、富士写真光機などグループ各社との連携により、さまざま な分野でビジネス展開をはかっていく方針です。





メタルシルバー





ホワイトシルバー

高画質・コンパクト・快適さを追求した 「スーパーCCD」搭載デジタルカメラ

FinePix F420

スタイリッシュモデル Fine Pix 「F」シリーズの新ラインアップとして、 当社独自のスーパーCCD ハニカムIV「HR」を搭載し、有効画素数 310万画素、最大記録画素数2816×2120(600万画素) 次高画質 を実現しました。さらに、画像を鮮明に確認できる約13.4万画素、 大画面1.8型液晶モニターを採用するなど、誰でも快適にきれいに 撮影できるデジタルカメラです。

ボディカラーではなく、ボディの素材感に違いをつけた「Wフェイス」 を採用し、" メタルシルバー "と" ホワイトシルバー "の2タイプから選ぶ ことができます。今春発売した「FinePix F410」より大幅なダウンサ イジングと軽量化をはかったコンパクトボディに光学3倍ズームを搭載 しています。

国民的な乳がん検診推進運動をバックアップする 医療用高精細デジタル×線画像診断システム

FCR PROFECT CS

高精度なデジタル×線画像診断システムとして高い評価を得ている「フジ コンピューテッド ラジオグラフィ (FCR)の最高位機種で、マンモグラフィ(乳房×線撮影)による乳がん検診にも最適です。「FCR PROFECT CS」は、当社独自の高画質読取技術を採用し、FCR画像・情報コントロールステーション「CR Console」と組み合わせて使用することで、乳がんの早期発見に寄与する鮮明な画像を描出します。また、画像の高速読取部や4段カセッテセット棚を搭載し、撮影作業を大幅に効率化しました。(P10に関連記事を掲載しています)





カラーレーザーで世界最高のプリント解像度 リアル 2,400 dpi を実現したデジタルカラー複合機

富士ゼロックス DocuColor 1256 GA

DTP市場において、高い評価をいただいた「DocuColor 1255 CP」の後継機として開発し、大幅に画質を向上させたデジタルカラー複合機です。

「DocuColor 1256 GA」は32本のマルチビームをもつ独自開発の 面発光型半導体レーザーVCSEL(Vertical-Cavity Surface-Emitting Laser を搭載。32本同時に高密度・高速に書き込みを 行うことで、カラーレーザーで世界最高のプリント解像度リアル 2,400dpiという、印刷に迫る高画質を実現しました。プリントスピード は、カラー毎分12.5枚、モノクロ毎分50枚、共にA4ヨコ)です。

OPICS

乳がんの早期発見・早期治療をめざす 「ピンクリボン運動」に協賛

乳がん対策は、まず早期検診から

「ピンクリボン運動」は、乳がんの啓発運動を通して乳がんの早期発見・早期治療へとつなげ、乳がんによる死亡率を減らそうという願いから、1980年代にアメリカでスタートしました。「ピンクリボン」は、そのシンボルマークです。アメリカでは女性の8人に1人、日本では30人に1人が乳がんになると言われています。昭和30年には1,572人だった乳がん死亡者数が、平成14年は9,676人(平成14年厚生労働省人口統計)と、この47年間で約6倍に増加しています。

一方、アメリカでは1990年以降、乳が んにかかる人は減少していませんが、受 診率が約65%までに上がった結果、死亡率は低下しています。これは、まさに(マンモグラフィと視触診による)乳がん検診が普及した成果と言えます。

マンモグラフィとは乳房の×線撮影のことで、高精度な画像診断装置により微小ながん病変を画像としてとらえ、早期発見が可能です。富士フイルムは、「FCR(フジ・コンピューテッド・ラジオグラフィ)」を20年前に発売して以来、ますます高度化する医療サービスをサポートしてきました。今秋、発売したマンモグラフィに最適な新製品「FCR PROFECT CS」は、より高精度な診断によって、乳がんの早期発見に少しでも寄与できることを願い、開発したものです。

ピンクリボン運動の認知度upに貢献

富士フイルムは、ピンクリボン運動の認知度向上に積極的に協力しています。昨年の4月から7月にかけて、写真のプリント袋にピンクリボンマークを印刷し、乳がん検診を訴えるとともに、富士フイルムメディカルのホームページに関連するコンテンツを開設するなど、ピンクリボン運動の啓蒙を各方面で行っています。

富士フイルムは、乳がんの検診受診と 自己検診の重要さを一人でも多くの人に 知っていただき、乳がんで亡くなる方が一 人でも減るよう、今後もピンクリボン運動を 積極的にサポートする一方、「FCR」をさら に進化させることで、

Pink Ribbon SmileWalk

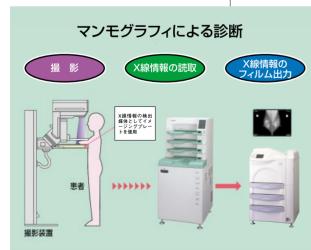
医療の発展に貢献してまいります。



「ピンケリボンスマイ ルウォーク」 に協賛

今年の10月11日~13日に開催された、日本最大のピンクリボン運動「ピンクリボンフェスティバル (主催:テレビ朝日、朝日新聞、日本対がん協会)で、富士写真フイルムと富士フイルムメディカルは、メインイベントの「ピンクリボンスマイルウォーク」

に特別協賛しました。イベントには3,300人の一般の方が参加され、六本 木ヒルズをスタートし、東京の新名所を回る15kmのコースを歩きました。



Green Report

" 環境レポート 'から" 社会・環境レポート "へ

「富士フイルム 社会・環境レポート 2003」発行

当社は1996年以降、環境保全に関わる取り組みや成果などを「富士フイルム環境レポート」として毎年ご報告してまいりました。このほど、社会的責任について、より広範な情報開示を行うことを目的に、環境のみならず社会性や経済性に関する情報も充実させた「富士フイルム 社会・環境レポート2003」としてリニューアルしました。





「読者意見交換会」の様子をご紹介したページ

レポートの主な内容

環境配慮設計のしくみと環境配慮製品・技術の紹介

2002年度の最も大きな成果の一つは、 製品・サービスの環境品質向上のため、グ ループ全体の環境配慮設計のフレームワー グ「環境配慮設計基本規則」を定めたこと です。この基本規則に基づく新製品の開 発を2003年4月からグループ企業を含め、 全面実施しました。

サステナビリティ会計の報告

連結ベースでの環境会計に加え、社会的な活動結果も金額換算し、サステナビリティ会計として記載しました。とくに、「お客様への経済効果」として環境配慮商品の使用時の効果等について詳細な分析を行った結果、前年度比150億円増(前年度比4倍)という結果を得ています。

社会性に関する新たな記載

・コーポレート・ガバナンスの取り組み

- ・コンプライアンスの推進
- ・人事制度と研修プログラム、労務、福利 厚生に関する取り組み
- ・顧客対応の組織とシステム
- ・ユニバーサルデザインへの取り組み
- ・取引先との関係

読者意見交換会(ステークホルダーミーティング)の開催とご意見の紙面への反映

NGO、金融機関、行政、工場周辺にお住まいの方、お取引先などの方々と意見交換をさせていたださ、「顔が見える工夫」やページ毎に「用語解説」を配するなど、いただいたご意見を社会・環境レポートに反映させました。

グループ会社の第三者検証を実施

(株)中央青山サステナビリティ認証機構による第三者検証を、国内グループ会社にも実施しました。 同認証機構からは、「レポートに記載された重要な社会・環境情報の特定、収集及び報告に関するプロセスが適切かつ有効」との評価をいただいています。

富士フイルムグループでは、今後とも環境・経済・社会の全ての面において確実で一歩先行した取り組みを行い、"持続可能な発展"に貢献するとともに、その取り組みを「社会・環境レポート」でご報告してまいじます。

社会・環境レポートをご希望の方は、下記までご請求ください。

環境・製品安全推進部 TEL:03-3406-2291 E - Mailアドレス:ecorepo@fujifilm.co.jp 社会・環境レポートの内容は、当社ホームページからもご覧いただけます。

URL: http://www.fujifilm.co.jp/kankyoreport/index.html

財務諸表

平成15年4月1日~平成15年9月30日

単独

■貸借対照表	単位:百万円(単位未満切り捨て)		
科目	平成15年度中間期	平成14年度中間期	
(資産の部)			
流動資産	581,394	559,263	
固定資産	1,110,374	1,116,909	
資 産 合 計	1,691,769	1,676,173	
(負債の部)			
流動負債	169,449	176,202	
固定負債	37,980	49,700	
負債合計	207,430	225,903	
(資本の部)			
資 本 金	40,363	40,363	
資本剰余金	58,980	58,980	
利益剰余金	1,374,894	1,340,464	
その他の剰余金等	10,101	10,463	
資 本 合 計	1,484,338	1,450,270	
負債及び資本合計	1,691,769	1,676,173	

■損益計算書	単位:百万円(単位未満切り捨て)		
科目	平成15年度中間期	平成14年度中間期	
売 上 高	376,339	390,160	
営 業 利 益	37,692	38,820	
経 常 利 益	40,404	41,474	
税引前中間純利益	38,090	35,482	
中間純利益	26,117	23,197	

連結

■貸借対照表 単位:百万円			
科目	平成15年度中間期	平成14年度中間期	
(資産の部)			
流動資産	1,465,650	1,390,833	
投資及び長期債権	397,739	428,756	
有形固定資産及びその他の資産	1,143,564	1,103,022	
資 産 合 計	3,006,953	2,922,611	
(負債の部)			
流動負債	734,174	705,546	
固定負債	451,480	392,367	
少数株主持分	117,651	131,892	
(資本の部)			
資 本 金	40,363	40,363	
資本剰余金	68,135	68,135	
利益剰余金	1,687,912	1,644,669	
その他の剰余金等	△ 92,762	△ 60,361	
資 本 合 計	1,703,648	1,692,806	
負債及び資本合計	3,006,953	2,922,611	

■損益計算書		単位:百万円
科目	平成15年度中間期	平成14年度中間期
売 上 高	1,256,611	1,249,435
営 業 利 益	91,506	95,892
税引前利益	81,063	77,908
当期純利益	41,112	33,610

株主と株式の概況

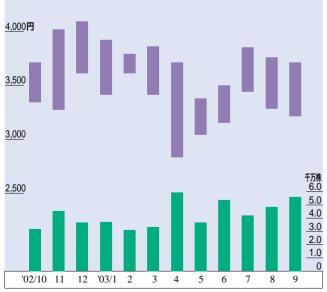
株式の状況

	平成15年度中間期	平成14年度中間期
株 主 数	28,051 名	29,620 名
発行済株式数	514,626 千株	514,626 千株

所有者別分布(株式数と比率)

	平成15年度中間期	平成14年度中間期
金融機関	215,883 千株 (41.9 %)	246,402 千株 (47.9 %)
証 券 会 社	3,993 千株 (0.8 %)	3,346 千株 (0.6 %)
その他法人	19,543 千株 (3.8 %)	20,853 千株 (4.1 %)
個人・その他	46,519 千株 (9.1 %)	48,439 千株 (9.4 %)
政府・地方公共団体	4 千株 (0.0 %)	0千株(0.0%)
外国法人等	228,684 千株 (44.4 %)	195,586千株(38.0%)
計	514,626 千株 (100 %)	514,626 千株 (100 %)

株価(高値・安値)及び株式売買高の推移



株価及び株式売買高は、東京証券取引所におけるものです。

■株価

■ 株式売買高

会社概要

設 **昭和9年1月20日**

資 本 金 40,363**百万円(平成**15**年**9**月**30**日現在)**

従業員数 9,724名

本 計 神奈川県南足柄市中沼210番地

東京本社 東京都港区西麻布二丁目26番30号

大阪支社 大阪市中央区備後町三丁目5番11号

インターネットで当社に関する情報がご覧になれます。

URL http://www.fujifilm.co.jp/

株主メモ

決 算 期 3**月**31日

定時株主総会 6月下旬

公告掲載新聞 日本経済新聞

名義書換代理人 UFJ 信託銀行株式会社

同事務取扱所

UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂 7-10-11

電話(03)5683-5111(代表)

照会先

株式の各種お手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行の電話 およびインターネットで24時間承っております。

受付フリーダイヤル0120-24-4479(本店証券代行部)

0120-68-4479(大阪支店証券代行部)

URL http://www.ufjtrustbank.co.jp/

同取次所

UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

野村證券株式会社 全国本·支店

単元未満株式の買取請求および買増請求について

単元未満株式(1株から999株の株式)の買取請求(ご売却) および買増請求(ご購入)については、上記の事務取扱所・ 取次所でお取扱いたしております。ただし(株)証券保管振替機構 に株券を預託されている場合には、お取引の証券会社に お申し出ください。

なお、当社は決算公告に代えて、貸借対照表ならびに損益計算 書を当社のホームページ《http://www.fujifilm.co.jp/》に掲載し ております。



富士写真フイルム株式会社

〒106-8620 東京都港区西麻布2丁目26番30号 電話(03)3406-2111(大代表)

